

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅱ 調査問題の解説」の「解答類型」等に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

■ 全国学力・学習状況調査 解答(回答)用紙④ 数学 オマケ

解答欄はウラにもありません。

1

※当てはまるものすべてを選んで解答すること。

2 $x = 2$, $y = -3$

3

4 $y = -\frac{6}{x}$

5

6 (1)

(2)

説明
(例) 冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、使用年数と総費用の関係から連立方程式をつくり、それを解いて使用年数の値を求める。

7 (1)

(2)

(3) (例) 四角形ABCDがひし形ならば、 $AF = CE$ になる。

※「組」と「整理番号」は、下の例のように記入してください。

例：1組012番の場合
組： 整理番号：

生徒記入欄		性別
組	整理番号	
<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="0112"/>	男
<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="0112"/>	女

①	①	①	①	①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②	②	②	②	②
③	③	③	③	③	③	③	③	③	③
④	④	④	④	④	④	④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨
⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩

答案番号

解答欄はオモテにもありません。

8 (1)

(2) 説明

(例) 1日あたりの読書時間である26分は山の頂上の位置にないので、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いというのは適切ではない。

(3)

9 (1) ①

②

(2)

n を整数とすると、連続する5つの奇数は、 $2n+1, 2n+3, 2n+5, 2n+7, 2n+9$ と表される。これらの和は、
 $(2n+1)+(2n+3)+(2n+5)+(2n+7)+(2n+9)$
 = (例) $5(2n+5)$
 $2n+5$ は中央の奇数だから、
 $5(2n+5)$ は中央の奇数の5倍数である。
 したがって、連続する5つの奇数の和は、中央の奇数の5倍である。

(3)

■ 全国学力・学習状況調査 解答(回答)用紙④ 数学 ウラ

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅱ 調査問題の解説」の「解答類型」等に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。